



めざせ! One大阪 ISHIN TIMES 維新タイムズ

Vol.3
令和5年度

発行 大阪維新の会
大阪府議会議員団
<http://osaka-ishin.jp/>
〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06) 6946-5390
FAX (06) 6946-5391

大阪府議会議員
警察危機管理常任委員長

杉江ゆうすけの府政報告

大阪、吹田を前へ

吉村知事等へ本会議で質問しました!

11月定例府議会では、任期中に4回与えられている本会議場での一般質問に臨みました。万博記念公園で計画されている大規模アリーナの整備や、阪急豊津駅横を流れる1級河川・上の川の上面を利用した歩道整備、万博・IRを見据えたオーバーツーリズム対策等、吉村知事はじめ大阪府担当部局の皆さんに質問しました。

今回の維新タイムズでは、その一端をご報告するとともに、高校等授業料の無償化、大阪関西万博の公募情報等を記載しています。是非、ご覧ください。



オンライン議会報告会
〈毎月22日開催中〉

2025
YouTube
杉江ゆうすけ 検索
杉江友介の政治活動や
大阪府議会での取組等
YouTubeで動画配信中!

府政に関する相談やお問合せは
杉江友介 事務所まで

〒564-0025 吹田市南高浜町26-3
TEL (06) 6318-0055 FAX (06) 6318-0057
Mail info@sugieyusuke.net HP sugieyusuke.net



杉江HP

杉江友介の一般質問

議会ネット中継は
こちらから▶



万博アリーナ等の整備

大阪府が主体的に、地元への丁寧な説明を要望!

Q. 杉江友介

大規模アリーナがオープンすれば、周辺道路等が更に混雑することが懸念されますが、本事業における大阪府の責務と費用負担の考え方についてお伺い致します。

A. 府民文化部長

具体的には、原則としてアリーナ及び周辺施設の整備費用は事業者の責務と費用負担で実施する一方、周辺道路や歩行者通路などの交通環境整備については、大阪府の責務として費用負担し、実施することとして、現在、協議している。



※大阪府と事業予定者で現在協議中であり、今後変更の可能性があります。
出典：三菱商事都市開発株式会社HP (R5.9.22「万博記念公園駅前周辺地区活性化事業」に関する大阪府との基本協定締結)より抜粋

Q. 杉江友介

公募主体である大阪府としても、地域住民の方々が安心し大きな期待を寄せて頂けるように、事業の現状や今後進めていく各手続きの流れなどについて適切なタイミングで説明し、意見を聞くべき。

A. 府民文化部長

地元自治会に対して事業予定者からの提案内容をお示したところであるが、さらに、地元市との環境アセスメントや開発協議などの具体的な手続き等について、速やかに、地域の方々に、よりきめ細かくご説明をさせていただく。

今後とも、手続きの進捗に応じて適宜、地域の方々の意見をお聴きしながら、大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを目指し全力を尽くす。

上の川周辺のまちづくり

「歩道整備の延長」を提案!

Q. 杉江友介

府道吹田箕面線の事業中区間の北側にある蓮華寺(れんげじ)橋から上流の関大前駅手前までの区間については、現在事業中区間と同様に、上の川の上面を利用して歩道整備をすべき。

A. 大阪府

今後、市から具体的な提案があった場合には、河川空間の利活用の必要性等を確認したうえで、歩道の拡幅をはじめとする道路空間の再配置などについて、協議に応じていく。



その他の質問項目

- 大阪府内地域別GDP統計
- 2025年大阪・関西万博の機運醸成
- 大阪府警察における不祥事案
- オーバーツーリズム対策
- 大阪版ライドシェア

意見書

大阪維新の会府議会議員団から、次の2本の意見書を提案し、賛成多数で可決、国に送付されました。その他詳細は、HPをチェック!

- 北陸新幹線敦賀・新大阪間における早期の認可・着工と全線開業等を求める意見書
- 日本版DBS制度の対象範囲拡大等を求める意見書

意見書HP



2025年大阪・関西万博の最新情報

11月30日から入場券の先行販売がスタートしました。また一般催事や場内施設の公募等も始まっています。特に大阪に関係する、大阪の皆さんが参加可能な情報を集めたHPがあります。万博に関する最新情報はこちらからご覧ください!

万博HP



私立高校等授業料の無償化

高校等授業料の無償化の制度概要や参加予定校の情報等をまとめています。いつから制度が始まるの? 誰が対象になるの? どの費用が軽減されるの? 等、皆さんの疑問にお答えしています。

高校無償化HP





万博会場建設費増額を巡り代表質問!

万博協会、経済産業省、吉村知事と論戦

坂上敏也議員

議員全員協議会(11月10日) 府議会では25年ぶりに開催

吉村洋文知事

維新府議団代表質問 坂上敏也総務会長

Q 前回増額時、国に対して、1850億円から増額する場合は1/3ルールに拘らず、国の責任において対応すべきと意見書を提出。今回500億円の増額となったが、国は、この府議会の意見書をどう受け止めているのか。また、増額は今回で最後となるのか。

A 国>増額は想定外の物価上昇によるもので、やむを得ないものであった。また、今回、予備費も計上していることから、更なる増額は無い。

Q この間、府議会在、会場建設費の増額について再三、指摘してきた中で、一貫して博覧会協会は「1850億円に収めるよう努める」との答弁であった。それにもかかわらず、なぜこのような500億円の増額が出てきたのか。

A 協会>今まで、様々な節減努力を行ってきた。しかしながら、資材、労務費が高騰し、その影響からの増額である。

Q 会場建設費の増額などで万博開催にネガティブな報道があるが、きちんと万博開催がもたらす効果を国民に発信し、理解を求めていくべきと考える。知事は日頃から「大阪・関西万博を一過性のイベントとするのではなく、その後の経済成長の起爆剤としていく」と言っているが、具体的にどのように取り組んでいるのか。

A 知事>万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。未来への希望を世界に示す万博として是非とも成功させ、その成果を成長につなげることが私の強い思い。万博後は、再生医療の産業化や、空飛ぶクルマの日常的な利用、再生可能エネルギーの実用化によるカーボンニュートラルの先導など、新技術の社会実装を強力に進めることで、新しい産業が創出され、人材や企業がさらに集積する好循環につなげる。こうした取り組みをオール大阪で進め、大阪の成長につなげていく。

要望 万が一これ以上の増額があるなら、国の責任において対応を。また、今後の執行状況発信にあたっては、より透明性や客観性を確保し、国民の理解が進むよう分かり易い情報発信をお願いします。

万博推進強化の意見書案を可決 11月20日 国に提出しました!

【意見書の名称】
我が国の発展に資する大阪・関西万博の推進強化を求める意見書

【意見書の概要】
大阪・関西万博を単なるイベントとして成功させるだけでなく、万博をインパクトに大阪・関西、ひいては日本経済の成長・発展に確実に結びつけていくためにも、開催主体である国においては、主導的な役割を果たしつつ、以下について適切に対応されるよう強く要請する。



- 1 万博の会場建設費については、新たに予備費を計上していることにも鑑み、今回の増額を最後とすること。
- 2 徹底したコスト管理とコスト削減を可能な限り追求することに加え、定期的に会場建設費の執行状況を国民に公表することを契機に、万博に関する様々な情報の見える化を更に進めること。
- 3 万博成功の鍵となる「未来社会の実験」の実現に取り組むとともに、万博のメリットを全国で享受するためにも、機運醸成や国内外との交流拡大、子どもの参画促進など、地域の特性に応じた地方の取り組みを強力に支援すること。
- 4 万博で実証・実装された最先端技術やサービスなどが、万博のレガシーとして人類共通の課題解決や日本の経済的・技術的発展に資するものとなるよう精力的に取り組むこと。
- 5 来場者の安全・安心の確保は最優先で対応されるべきものであり、必要な警備体制の構築などについては、国において万全の措置を講ずること。
- 6 万博に対する非常に厳しい声があることから、万博開催の意義や会場で体験できるコンテンツ、経済効果などについて、あらゆる機会や広報媒体を活用して発信することで、国民の更なる理解促進につなげること。

物価高騰支援の補正予算案 62億円 を可決! 府議会11月定例会(12月12日)

エネルギー価格等の物価高騰の影響を受けた事業者への支援に緊急に必要な経費を追加

福祉施設、医療機関、私立学校等への支援(53億円)

トラック運送事業者への支援(6億1,600万円)

畜産農家への支援(3,500万円)

公共交通事業者への支援(2億円)

“大阪がめざすべきライドシェア”導入へ制度案

2025年大阪・関西万博期間を含み期間限定府内全域

大阪府と大阪市は、全国的なタクシー不足の中、2025年大阪・関西万博を見据え、府民・市民や観光客等の移動手段を確保するため、ライドシェアの導入について、国に提案する制度案をまとめました。

制度案の概要

- 府内の全域を対象に、24時間運行するとしてうえで、実施主体について、タクシー会社だけでなく、同等の運行管理体制を確保できる事業者の新規参入を認める。
- 雇用形態は、業務委託も可能とする一方、安全性を確保するため、事業主体が運送サービス全般に責任を持ってドライバーと契約することで、役割や責任の分担を明確化する。
- 需要と供給に応じて運賃が変動する「ダイナミックプライシング」と呼ばれる仕組みを導入する など

大阪府と大阪市は、国と協議を行い制度案の実現をめざします。

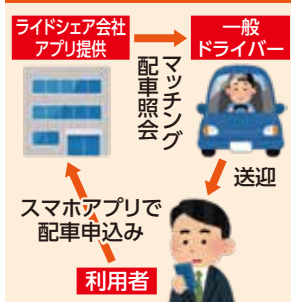


吉村洋文知事：大阪のライドシェアのあるべき姿を国に伝え、しっかりと協議を続けて実現したい。

タクシーとライドシェアの主な特徴

	タクシー	ライドシェア
運転手	プロ(2種免許)	一般人(1種免許)
車両	事業用として登録(緑色ナンバープレート等)	自家用として登録(白色ナンバープレート等)
利用法	空車を見つけて乗車。アプリや電話で呼ぶ。	アプリで予約
運賃	走った距離などに応じて確定。一部は事前確定。	事前確定
運送責任	タクシー会社	実施主体

ライドシェアのイメージ



2025大阪・関西万博 大阪パビリオン

建設工事順調に進捗

令和6年10月末完成へ

2025年大阪・関西万博で大阪府・市と経済団体が出展する地元館「大阪ヘルスケアパビリオン(大阪パビリオン)」の建設工事が順調に進んでいます。建物の鉄骨工事がほぼ完了し、令和6年10月末の完成を目指し、外壁工事などが始まっています。

大阪パビリオンは、「REBORN」(リボーン)をテーマに、未来の食や文化、ヘルスケアなどをバーチャルと現実の両方から体験できるとのこと。2050年ごろのミライの都市生活をイメージした展示が行われますが、その展示や運営費は主に協賛金・寄付金を充てる予定です。



提供：2025年日本国際博覧会大阪パビリオン推進委員会

